

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3年 2月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人 弘仁会	介護老人保健施設 ロータスケアセンター	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	① サイト・コールN・ハイパー(NSCH-1) ② サイト・コールN・ハイパー増設セット(NSC-1P) ③ ベッド・コールN・ハイパー増設セット(NBC-1P)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 12月 23日	① 2台 ② 1台 ③ 1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 日常的にベッドサイド、ベッド上に設置。有線に比べて認知機能が低下した利用者が配線等気にすることなく安全に生活できる。認知機能が低下した利用者のトイレや起床等の希望へ、安全に対応できている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 有線式やマット式のセンサーを使用することで、ベッド周辺環境が気になり、必要な生活動作以外での転倒のリスクが逆に高まる利用者が多く、無線センサーは、環境を気にすることなく安全に生活支援ができる。利用者は環境への違和感がなく生活でき、職員は必要なリスクに対して迅速に対応できる。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 電池交換の際、配線部の断裂の可能性が高い設計のため使用前に保護してから使用している。使用に関しての機能的に今のところ問題はない。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3 年 2 月 2 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
有限会社 ピウ	グループホームピウあさひ五所	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマットNハイパーNHCH-1(MSN1200R) コールマットN/増設セットNHC-1P(MSN1200R)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3 年 1 月 27 日	3 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・居室での静養時、臥床後にセンサーマットのスイッチを入れる。 ・居室で臥床する時は必ず使用する。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・転倒リスクが高く認知症のため指示が通りにくい入居者へのセンサーマット導入により、居室確認の回数が減り介護負担感が減った。 ・センサーが鳴ったらすぐに訪室出来るので転倒リスクも軽減できている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・スイッチの入れ忘れが無いように職員同士で声を掛け合っている。 ・センサーが鳴ったら、まず訪室して中継ボックスの電源を止め、その後受信機を止めないとならず二度手間が掛かる。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3 年 2 月 1 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人下総会	特別養護老人ホーム名木の里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	①コールマットコードレス MSN1200R ②ベッドコールコードレス BSN8025RD	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 12 月 30 日	4 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 足元センサーをベッド臥床時に毎日使用する。 端座位になり、足が付くとセンサーが反応するので、離床された事・何かの訴えに気づく事ができ、転倒リスクの回避につながる。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 自己にて動かれ、転倒・転落等の危険性を早く知ることが出来、危険を予知する事が出来る。 夜間 30 分で一回巡視を行っていたところ、センサーマット導入により、1 時間に一回の巡視で業務を行うことが可能となった。		
【介護ロボットの不都合な点】 入居様様が離床し、湿布を貼る動作・整容動作時にもセンサーマットに足が触れるため、離床センサーが反応してしまい、その都度対応すると不機嫌になられたり、不穩になってしまう事があります。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3年 2月 5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人林声会	特別養護老人ホームゆかり岬	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	① HC-R コールマット コードレス MSN1200R ② BC-RN ベッドコール コードレス	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年12月28日	① 7台 ② 5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 転倒、転落の恐れのある利用者の方に使っている。特に夜間、利用者が不穏時の不意の起床による転落事故では、通常防ぐことが出来ない。このセンサーを活用することで、離床、着床時に的確に対応できている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 夜間体制の見守りに絶大な効果を発揮する。安否確認と巡回回数を減らすことが出来その結果、コール対応に集中することで、 <u>夜間職員の疲労軽減</u> につながっている。深夜、起床する利用者の方を的確に対応でき、転倒、転落のリスクを減らせている。 夜勤者が交代で休憩をとることが出来るようになり、 <u>夜勤者の負担軽減</u> になっていると考える。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ナースコールに連動して動作するため、体動によりセンサーが反応する場合がある。特にその見極めが肝要となってくる。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3年 3月 8日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
有限会社オーケーサービス	グループホームこころ	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマット・C・スマート / HCSM-1	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3年 3月 / 日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・転倒リスクのある利用者に対し使用。ベッドから離床したら発報することで転倒する前の声掛けを行い事故の防止を図る。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・認知機能の低下により転倒リスクのある利用者には立ち上がらないよう声掛けを行ってもうまく理解していただけなく転倒してしまい、ADLの低下を招いていたことがあったが機器を導入したことにより立ち上がりの前に発報するので転倒する前に駆け付けることが出来るようになった。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・置いてあるのが分かるので利用者によっては避けて立ち上がる場合がある。		